



# 文化祭協賛 寿地区史跡めぐり

(小池コース)

世帯数 6,096戸  
人口 13,857人  
(令和4. 11. 1現在)

第34回寿地区史跡めぐりが、10月29日(土)に、小池公民館発着の小池コースで開催されました。

このコースでは、諏訪神社跡、叶坊観世音、小池の砦、小池遺跡、宝蔵寺跡、山の神、小池神社、草間屋敷跡、地藏清水跡、絵堂跡を、寿史談会顧問の青木教司先生とあがたの森文化会館の大池徳尚先生を講師として、全参加者43名は2グループに分かれて巡りました。

## ◆諏訪神社跡(雀の宮)

小池にはかつて五千石街道の東側と西側に神社がふたつありましたが、西側のこの神社は、明治政府の1村1社の方針により、明治42年に東側の神社に合祀され、今では跡地に案内板のみ残されています。

## ◆五千石街道のいわれ

叶坊観世音への移動中、五千石街道を横断しました。元和3年(1617年)8万石の松本藩領主小笠原氏に代わって、7

万石の戸田氏が新領主となりました。ここに一万石の差が出たので、当時の幕府は、松本平東の五千石を諏訪の高嶋藩へ、西の五千石を伊那の高遠藩へ編入しました。寿・内田・熊井は高嶋藩となり、この

年貢を運ぶための街道を五千石街道と呼ぶようになったとのことです。

## ◆小池遺跡

平成2年、団地造成に伴って発掘が行われ、この遺跡が発見されました。発見された遺構・遺物は多く、竪穴住居跡76軒、建物跡5棟他、土甕、陶磁器、石器、鉄器等たくさん出土品がありました。特に役所跡と思われる建物は、18m×12mで県内最大規模の建物です。8世紀から9世紀ころに栄え、稲作の発達と共に9世紀以降衰退したとのこと

## ◆小池神社(からすの宮)

東側にあったこの神社は、武

田信玄がこの地方を占領した時の古文書により、戦国時代前からあったとのこと。西側にあった雀の宮を合祀し、本殿がふたつあります。



## ◆地藏清水と牛伏寺川

### 扇状地末端の湧水

地藏清水付近は、小池の中央で西側が崖になっていて、湧水の多いところです。この崖は、牛伏寺川扇状地の末端が田川の洪水によつて削り取られて出来たことで、断層ではないとのこと。この崖は、寿小学校のグラウンドと校舎のある面との段差の所でも見ることが出来ます。

## ◆牛伏寺との関係

宝蔵寺の所有物、地藏清水の地藏菩薩像、絵堂にあった閻魔堂の遺物は、現在牛伏寺に残されています。



宝蔵寺跡

出発時は曇っていた天気も、いつも間にか晴天となり、帰着時には心地よい汗がにじんでいました。寿地区を6コースに分けて、来年度以降も継続されるとの事、お住まいの地区の歴史やいわれを学んではいかがでしょうか。

【館報編集委員 清水 壽雄】

## 「楽団ケ・セラ」演奏会

秋晴れの9月14日、「寿地区福祉の文化祭」のイベントのひとつとして、「楽団ケ・セラ」による演奏会が開催されました。

コロナ禍のなか、感染症対策を行いながら、できることをできる形でと、リモートにより寿公民館の他、高齢者・障がい者施設八会場をカメラでつなぎ、それぞれの会場で、「楽団ケ・セラ」の演奏を鑑賞しました。寿公民館では、三十名ほどが集まり、手作的の応援うちわを手に、音楽に合わせて揺らしたり、振つ



## 令和4年度 市長杯争奪球技大会結果

●ママさんバレーボール…優勝



●卓球…準優勝



## 令和4年度 市民スポーツ大会結果

- ソフトバレー (39歳以下) ……ベスト8 (40歳以上) ……ベスト8
- 卓球 ……Cブロック優勝
- マレットゴルフ ……第6位
- ソフトボール ……優勝



たりして一体感が生まれ、大いに盛り上がりました。「真つ赤な太陽」「花は咲く」などの歌謡曲を中心に十二曲を披露し、歌やダンスも取り入れて、見ても楽しめるよう工夫されていました。最後はオリジナルソング「この街に生きて」をみんなで合唱し、閉会となりました。リモートでつなぐという初の試みは概ね成功し、久しぶりの催しに集まった人々は、笑顔で楽しんでいました。【館報編集委員 下田 順子】

# わがまち小池町会子ども広場

平成30年度小池公民館がはじめた「わいわい広場」が伏線となり、令和2年度から市の子ども居場所づくり推進事業制度を活用した「子ども広場」がスタートしました。

公民館を拠点にして、子どもに食事や団らんの場を提供するとともに、学習のお手伝いや生活体験の支援、地域文化の伝承を通じ、つながりを深め、子どもたちの生きる力を育むことを目指しています。

小学生を対象として、原則月一回最終週の土曜日午前10時から12時頃まで開催しています。自由学習のあと、春にはモロコシの播種やジャガイモ・サツマイモなどの定植、そして、夏秋には収穫を体験し、焼き芋大会も行っています。また、育成会と共催でホテル観察の勉強会やしめ縄づくり講座、公民館と共催でマリンバやアルパのコンサート鑑賞会も行いました。

子どもたちは各回平均十数名の参加があり、運営は、30数名のスタッフが三班に分かれ月毎担当しています。町内の高齢者クラブや松本大学教育学部の大蔵先生はし

め学生さんにも協力を頂き、たいへん心強く思っています。

今夏、子どもたちの

夏休みの宿題をお手伝いする「寺子屋」を開きました。

さらに今

後町内の史跡や自然、生活を訪ね歩き、それらを題材にした「カルタ」を作る予定です。

コロナ禍が早く終息し、子どもたちと会食できる日を楽しみにしています。

【小池町会子ども広場運営委員長 百瀬 俊元



## 「刃物研ぎ講座」始まる!

9月25日から寿公民館調理室においてボランティア「鉋の会」主催による伝統技術伝承シリーズ第1弾「刃物研ぎ講座」が鬼頭朝雄氏を始め講師陣により、感染対策の上、始まりました。

今回は、休日プラン(全4回)コースで定員を上回る盛況ぶりでした。包丁研ぎの未経験者も多く、包丁の構造・砥石の種類や特徴・研ぎ方まで基本から学ぶことが



でき、参加者からは「トマトがスパッと切れる包丁にしたいい!」との声がありました。

実技は、持参の包丁を3種類の砥石で研ぎましたが、動画で勉強された方は「砥石の種類がそんなにあるのを知らなかった」「質問でき理解できる指導に感謝されていました。

講座を通し、技術を伝え・受け継ぐ事の大切さを実感できる貴重な機会となりました。

【館報編集委員 大村 健司



## 「ふれあい会食会」開催される

10月4日、寿体育館において寿地区社会福祉協議会主催による令和4年度ふれあい会食会「峰ちはる歌謡ショー」が開催されました。

コロナ禍のため会食による親睦はできませんでしたが、素敵な歌を楽しみながら選曲や衣装選び、ご自身の体験を踏まえた健康についての話を伺えました。



主催者からは「おりがみの会」の皆さんがおられたコスモスの花を峰さんの「秋桜(山口百恵)」の歌に合わせて参加者全員にプレゼントするというサプライズもありました。



最後に食改さん(食生活改善推進員)が作られたデザートの説明があり弁当と共に持ち帰りいただきました。

外出機会が少ない中、楽しい時間を過ごせていただいたことと思います。

【館報編集委員 大村 健司

## 私と家族の相続

「相続が争族」にならないための準備と「マイライフ&ライフエンディング」をノートにまとめる方法を勉強しました。

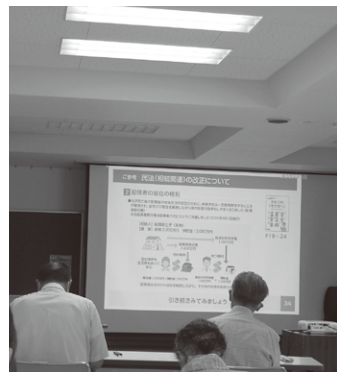
9月9日・16日・30日の3回にわたり、明治安田生命の社員を講師に行われました。

生前贈与の活用方法、争いごとを防ぐために有効な遺言書の活用方法、更に生命保険の活用方法も学びました。

驚いたことが2点。遺産の総額が少ないほど裁判件数が多いこと。1千万円以下が33%、1千万円から5千万円までが43%になること。

また、遺言書の作成時期が、50歳代以下で56%、60歳代が35%とのこと。

さあ、今からでも元気なうちに、相続とより良い終活のために、ノートを作成しようと思う。



【館報編集委員 清水 壽雄